

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和6年度高山工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月14日(木) 9:40~11:40
* 9:45~10:20 全校の授業を参観
- 3 開催場所 高山工業高等学校 校長室
- 4 参加者
(敬称略)

会 長	西田 裕一	高山工業高等学校 育友会長
副 会 長	見山 政克	高山市教育委員会 教育長
委 員	牛丸 勝	高山市立日枝中学校 校長
	多田 仁	高山市立花里小学校 校長
	小林 慎作	千島町内会副会長
	中田 和子	高山商工会議所 女性会 会長(欠席)
	岡田 明子	飛騨木工連合会理事理事
		飛騨産業株式会社 代表取締役社長

学 校 側	岩島 義則	校長
	渡辺 圭子	教頭
	三田 真弓	事務長(欠席)
	大坪 博孝	教務主任
	高橋 佑介	生徒指導主事
	新家 邦男	進路指導主事
	門前 雅人	工業部長

5 会議の概要

[授業参観の感想]

意見1: 実習に際し、安全に徹底し学習が展開されている。

意見2: 製図では、やることの意味ややり方が分かっているため本当に集中して取り組んでいた。良い学びを見た。

意見3: 法令や電熱装置など大切な学習を落ち着いた雰囲気で行っている。先生方との距離も近い。

意見4: 生徒自らが求めて主体的に取り組んでおり学年が上がるごとに更に良くなっている。また、英語のリーディングでは楽しそうに進められ、いい声が出ていた。

意見5: 実習ではマンツーマンに近い形で指導が行われており恵まれている。学ぶ内容は技術の進化に伴い自分たちの学生時代よりも専門的で、設備もものすごく充実している。

[協議及び指導・講評]

1 協議事項

(1) 生徒及び保護者等を対象としたアンケートの分析 (教頭)

- ・資格指導、授業規律・身だしなみ・情報モラル指導、教職員の対応は、保護者から高い評価をいただいた。一朝一夕に高評価を築くことができない項目でもあり、生徒、職員の日常を大切にしてきた取組が評価されていると感じる。
- ・課題として見えてきた保護者連絡の徹底は「すぐーる」という保護者伝達システムを活発に使うことにより改善につなげる。また生徒会活動の活性化については生徒アンケートを行い生徒の困り感や取り組みたい内容を吸い上げ、一歩ずつ前に進めている。

(2) 教育活動の中間報告

① 学校運営 (教頭)

意見1：生徒の質問の中の「本校では体罰は無い」について、分からないやDと回答している生徒もいること、及び「いじめや差別」について一定の数値が出てきていることへの学校としての捉えを教えてほしい。

回答1：体罰については、9月に本校の職員が不適切な指導により処分を受ける事案があり、真摯に反省をしている。アンテナを高くして、学校としてゼロになるという目標を必ず達成する。後者に関しては、嫌な思いをしているという話があれば生徒支援や管理職も含めて職員全員で情報共有し、積極的にいじめ案件として学校全体で取り組み適切な支援に繋げている。

② 教務部 (教務主任)

意見1：工業高校としてICTを適切に活用するとは、どういうことなのか教えていただきたい。

回答1：すべてをICTに変えるというのはどうなのかと思う。工業高校に関わらず、自分で工夫をしながらノートをまとめる力も絶対必要。効果があるところにスポットで活用するという使い方も十分あるのではと考えている。

意見2：全く同感。うちの小学校でいくと視覚に訴える資料提示はデジタルを使った方が楽なためそれを使う。一度見るだけでなく、疑問が出てきたら「もう一回そこに気を付けて見てごらん」と繰り返し見させる、また、視点を与えて再度見させるなどの使い方を始めている。

③ 生徒支援部 (生徒指導主事)

意見1：生徒との面談をなるべく細かく行い、いじめの問題等にも気を付けながら根気に向き合っていただくしかないように思う。

意見2：個別の教育支援計画とは何か。

回答2：生徒の特性に対する有効な支援について保護者・学校で共有し、日々の教育にあたっていこうというもの。本人と保護者の同意の下、小学校から中学校へ、中学校から高等学校へと引き継いでより良い支援を目指している。

④ 進路支援部 (進路指導主事)

意見1：アンケートの問いを、生徒たちに主体性を促すような聞き方に変えてはどうか。主体性を促すために出口をきちんと見せて、例えば進路なら「生徒自ら自分の進路を求める姿を教員が促していたか」等。そうことをすると親も子も、「あ、これやっぱり自分からやらなあかん」と感じる。

意見2：今年度の卒業予定数で、民間就職希望者が67名ということだが、飛騨地区に残る方はどれくらいか。

回答2：飛騨地区(飛騨市高山市下呂市白川村)に就職するのが50%、34名である。

⑤ 工業部 (工業部長)

意見1：専門的な資格は魅力である。それを実際に取得する生徒が増えてくれればと思う。

(3) スクールミッション（案）について意見交換

学校長より説明。

- 意見1：良い案だと思う。あとはこれをどれだけ本気で伝え、実践し続けることができるか、であると感じる。頑張してほしい。
- 意見2：地場産業を活性化していく上で、今から日本を背負って立っていく子どもたちを育てていくということが非常に重要だと思うので、良いミッションであると思う。
- 意見3：全くその通り。飛騨地区にはなくてはならないものづくり、ここはいい。
- 意見4：人間性あふれという表現は少しイメージしにくいかもしれないと思った。
- 意見5：夢にあふれとかいった方が、志が高くていいと思ったりする。工業高校に入ってくる人は何らかの目的があったり、大人になってこういうことがしたいと思って入る生徒が必ずいると思うので。

※上記を参考に、県教育委員会と調整を重ね、第3回学校運営協議会で報告する。

6 会議のまとめ

授業参観では全員の委員の皆様から、高い評価をいただくことができた。生徒や教員に伝え、励みとしていきたい。その後、生徒及び保護者等を対象としたアンケートを参考に、教育活動の中間報告を行った。ご指摘いただいた点について早々に職員一同と共有し、教育活動の中に落とし込んで、年度後半以降をさらに充実させていきたい。

スクールミッション（案）は概ね了承をいただいた。集まったご意見も合わせ、常に本校の旗印とできるものにすべく、県教育委員会と協議を重ねたい。

第3回の協議会では「卒業作品展」の見学と本年度の教育活動の総括を行う予定である。